

ご挨拶



ようこそ太陽と神話の国、宮崎へ。ご来場の皆様へ、ご挨拶申し上げます。

この度は、本年4月に発生しました口蹄疫の義援イベントとして「水平線の花火と音楽」を企画し進行していましたが、泉谷しげるさんの「日本を救え「宮崎編」」にも協力をお願いし、「がんばろう宮崎」を合言葉に、畜産農家をはじめ宮崎県民の方々に元気づけようとして、実現したものであります。ご支援、ご協賛頂きました皆様に改めて厚くお礼申し上げます。

この計画を遂行するに当たっては、準備期間が3ヶ月と少なく、多くの問題と困難があったにもかかわらず、宮崎県をはじめとして、各市町村並びに関係各位の一方ならぬご理解と、ご指導、ご協力を受け賜り、実現することが出来ました。

宮崎で花火と音楽を組合せて打上げ、夜空高く悪夢を追い払い鎮魂の儀式にしたいという実行委員会一同の強い願いがあったからこそできたものと信じます。

「畜産の再興のためには、7年は続けたい」との泉谷しげるさんの意気込みを受け、「水平線の花火と音楽」の祭典として今後も毎年開催されることを願い、宮崎県の更なる飛躍を切望し、コンサートの出演者の方々をはじめ、出店者、及び裏方を努められたボランティアの皆様へ心からお礼を申し上げ、ここにご挨拶いたします。

「水平線の花火と音楽」実行委員会
実行委員長 川添 睦身

口蹄疫からの再生・復興へのご支援ありがとうございます。



この度は、口蹄疫復興支援イベントとして「がんばろう宮崎／水平線の花火と音楽」を開催いただき、誠にありがとうございます。

今回の口蹄疫は、約29万頭にも及ぶ牛や豚などの家畜が犠牲となるなど、甚大な被害をもたらしました。

4月20日の発生確認から4か月余りという長期間に及ぶ苦闘でありましたが、関係の皆さまの御努力・御尽力によりまして、8月27日に無事、終息宣言を行うことができました。

この間、県内外の多くの皆さまから、心温まる御声援や御支援を賜りました。心から御礼申し上げます。皆さまからの応援が、私どもにとって大変大きな支えとなりました。

今回の口蹄疫は、畜産農家やその関連産業だけにとどまらず、商業や観光・物産、運送業など、本県産業のさまざまな分野に大きな影響を及ぼしました。今後は、畜産業はもちろんのこと、本県の一日も早い再生・復興を目指して、応援をいただいた皆さまへの感謝の気持ちを忘れず、県民一丸となって努力してまいりますので、引き続き、御理解と御支援を心よりお願い申し上げます。

本日の催しが、被害に遭われた農家の皆さまをはじめ関係者の皆さまの励ましになるとともに、本県の再生・復興に向けた新たな契機になることを期待しております。

宮崎県知事 東国原 英夫



※表紙の英文

The wonderful future will come from tomorrow if it enjoys it today. 【今日を楽しめば、明日からが素晴らしい未来になる。】